

文部科学省・平成18年度「資質の高い教員養成推進プログラム」

- 教育プロジェクト 名称：大学コンソーシアムによる幼稚園教員の養成
—地域社会に密着した子育て支援と幼保一元化への対応—
- 取組期間 2 年
- 取組区分 ① 幼稚園の教員養成に係る取組
- 大学名 岡山大学
- 所在地 (郵便番号 700-8530)
岡山市津島中一丁目1番1号
- 設置者 国立大学法人岡山大学
- 学長の氏名 (ふりがな) ちば きょうぞう
千葉 喬三
- 取組担当者
所属部局 教育学部
職名 教授
(ふりがな) たか はし とし ゆき
氏名 高橋 敏之
電話番号 086-251-7693

大学名：岡山大学，美作大学，倉敷市立短期大学，新見公立短期大学，岡山短期大学，川崎医療短期大学，順正短期大学，美作大学短期大学部

概要：この取組は、少子化が進む時代と教育現場・地域のニーズに対応できる専門的力量と実践力を備えた幼稚園教員の養成を目的とするものである。そのために、拠点大学・岡山大学と岡山県内保育者養成大学8校による大学コンソーシアム（地域大学間連携機構）を組み、養成教員の協働による「教員養成カリキュラムの充実」、学生に向けた「学生間交流による主体的成長の促進」、及び地域・家庭に向けた「地域に密着した子育て支援推進と拠点化」に取り組む。そこで、保育者養成における養成側の課題（専門性の多様化、保育者の研修不足等）、志望学生の課題（主体性・活動体験・交流の不足、育児支援への認識不足等）、地域・家庭の課題（地域の保育力低下、地域間格差の進行等）の改善を図り、時代や地域のニーズにあった優れた教育者の養成に資するため、少子化時代の子育て支援と幼保連携に対応できる基幹的保育者の資質能力を育成する。

ア. 保育者養成大学コンソーシアムでの基本戦略

本教育プロジェクトは、以上の背景を踏まえ、保育者養成大学コンソーシアムの有効性と成果を期待できる内容と実施計画を構想するために、図2に示すような基本戦略を考えている。

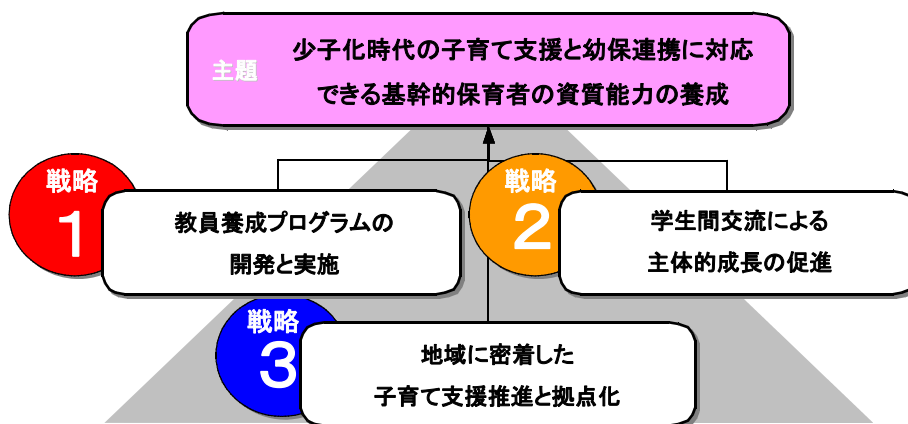


図2. 本教育プロジェクトの基本戦略

イ. 各戦略の内容と具体的取組

本教育プロジェクトの推進母体として、申請担当大学・岡山大学と岡山県内の保育者養成大学8校を連携協力大学とした大学コンソーシアムを構築し、合同研修、合同授業、モデルカリキュラムの開発研究を実施する。各大学の役割分担は、図3に示す通りである。具体的には、下記の課題別に、担当者会議を平成18年8月より1月に1回開催し、養成プログラムを開発して平成19年度試行しその成果を共有化する。岡山大学教育学部内に「岡山保育子育て情報研究センター(仮称)」を設置し、その成果を情報発信する。

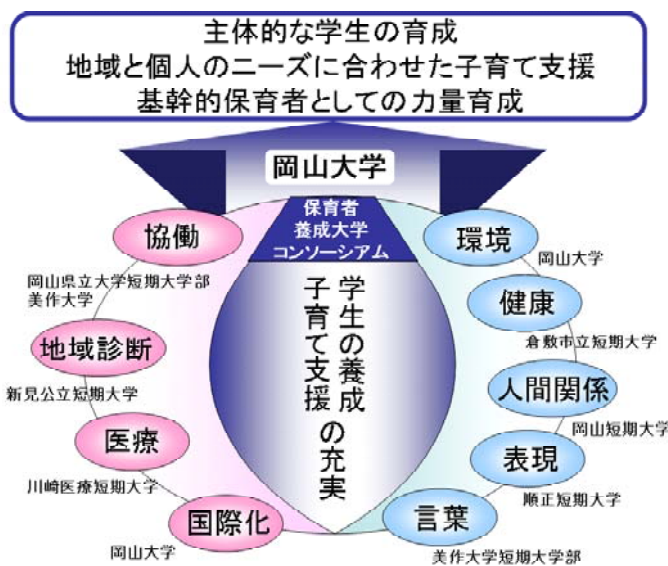


図3. 保育者養成大学コンソーシアムにおける役割分担

ウ. 子育て親育ちフォーラムと地域大学間連携シンポジウム

子育て支援は、単一の点的取組だけでなく、線的取組から面的取組へと発展させることが重要である。そこで図5に示すように3か月に1回地域と共に考えるフォーラムと連携シンポジウムを開催して線的取組とし、さらに幼稚園施設等へのインターンシップ事業による子育て支援の推進を行い面的取組に拡大し、情報発信と人的資源の提供により大学を子育て支援の拠点とする。本年度は、第1回を2006年12月に、第2回を2007年3月に予定している。2007年度は、第2回を2007年6月に、第3回を2007年9月に、第5回を2007年12月に予定している。特に、幼稚園・保育所の先生方は、是非とも、何名かずつ計画的に参加して戴くことを希望する。

●子育て親育ちフォーラム

「小学校教育の前段階」という上から下への視点で捉えられることが多かった幼児教育も、今日「0歳からの発達過程」である保育所保育→幼稚園教育→小学校教育という下から上への視点が重要となった。そこで、地域の大学がコーディネーターとして地域社会の課題を拾い上げ、柔軟にテーマを設定する「子育て親育ちフォーラム」を開催する。

第1回：人とかかわる力を育む子育てと保育の視点
(岡山県立大学短期大学部)

第2回：人口過疎地における子育て支援と保育者養成
(新見公立短期大学)

第3回：医療の専門性をもつ保育者の育成と家庭との連携
(川崎医療短期大学)

第4回：地域のNPO・幼稚園教員と子どもの健全な育ちを考える
(美作大学)

第5回：レッジョ・エミリア市の保育実践にみる共同性の教育
(岡山大学)

参加・参画者

幼稚園教員
保育所保育士
保護者
地域住民
民生・児童委員
子育て支援団体
保育者養成校教員
短大生
(2種免許取得予定者)
四大生
(1種免許取得予定者)
大学院修士課程学生
(専修免許取得予定者)
大学院博士課程学生
(養成校教員志望者)
教育委員会関係者等

第1回「環境」：自然に対する畏敬の念と保育における防災教育
(岡山大学)

第2回「健康」：幼児期の運動遊びと保育者の適切な援助
(倉敷市立短期大学)

第3回「人間関係」：学生と教員が協働するオペレッタ制作
(岡山短期大学)

第4回「表現」：子供と共に学ぶモデリングとドローイング
(順正短期大学)

第5回「言葉」：美しい日本語を身につけるための絵本
(美作大学短期大学部)

図5. 子育て親育ちフォーラムと地域大学間連携シンポジウム

●地域大学間連携シンポジウム

各大学における先進的な取り組みをシンポジウム等により交流する。「子育て親育ちフォーラム」との相乗効果を期待して同時開催し、広く参加・参画者を募る。またシンポジウムのみではなく、非公式な相互交流の機会となるようなポスター発表、資料展示のコーナーを設け、地域の資源を結ぶ役割を強力に進める。これらにより、①地域社会に触れ合い拠点を形成する、②親と子が共に育つ確実な基盤を整備する、ことを目指す。